

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和3年10月13日
発信課	観光スポーツ交流部観光課
担当者	橋本・関
連絡先	電話 (0166) 25-7168
	FAX (0166) 26-8585
	E-mail kankou@city.asahikawa.lg.jp

分類	イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日程	令和3年10月13日午後2時から市政記者室で発表します。
発表項目	旭川宿泊応援事業「あさっぴー割」の全面再開について
概要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>1 概要 市内の宿泊事業者が宿泊料金の割引を行った場合に助成する旭川宿泊応援事業「あさっぴー割」について、市外からの宿泊者向けの「全宿泊者対象商品（宿泊料金を含む1泊1人当たり税抜4千円以上で3千円割引）」は、令和2年12月28日から一時停止としておりましたが、緊急事態宣言が解除された以降も感染状況が落ち着いていることから、10月15日の道の宿泊割引事業「新しい旅のスタイル」の再開と同日に、市外の全ての地域からの宿泊者向け割引を再開することといたしました。</p> <p>2 再開日 令和3年10月15日（金）から ※ 予約受付は準備が整った登録施設から順次開始します。</p> <p>3 割引併用 これまで同様に、「あさっぴー割」と「新しい旅のスタイル」とは併用可となります。</p> <p>※ 上記について以下のとおり記者会見を行います 日時：令和3年10月13日 14時から 場所：旭川市役所総合庁舎4階 市政記者室 内容：あさっぴー割の全面再開について 観光光スポーツ交流部長及び観光課長が会見を行います</p>
添付資料	有 ・無 (有・無のいずれかを囲むこと。) ※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。
報道（取材）に当たってのお願い	
備考	

旭川宿泊応援事業「あさっぴー割」の全面再開について

あさっぴー割については、10月1日から市民限定で再開していましたが、緊急事態宣言解除後の直近の状況が、市内はもとより全道・全国レベルで新規感染者数が低減しており、解除後2週間経過時についても、同様の状況が見込まれることから、10月15日に市外も含めた全面再開といたします。

1 あさっぴー割の状況

- ◆ 緊急事態宣言の解除を受け10月1日から市民限定で再開している。
- ◆ 市外からの宿泊者の割引は、国の観光支援事業である「GoToトラベル」が停止となった令和2年12月28日以降、一時停止しており、今年度も再開していない。

2 国や道の状況

- ◆ 国は緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置を、発令していた全ての都道府県で9月30日に解除した。「GoToトラベル」について、国交省は再開の検討に入ったとの報道があるが時期は未定。
- ◆ 北海道は、一時停止している道の宿泊割引事業「新しい旅のスタイル」を、10月15日から再開する予定。

【あさっぴー割について】

◆実施期間

- 令和4年2月28日（月）まで（3月1日（火）チェックアウトまで）
※10月15日からの再開に当たっての予約受付は、準備が整った施設から順次開始します。
※割引宿泊商品がなくなり次第終了します。

◆対象施設（計30施設）

- ・プレミアムホテル-CABIN-旭川
- ・アートホテル旭川
- ・JR イン旭川
- ・ホテルウイングインターナショナル旭川駅前
- ・星野リゾート OMO7 旭川
- ・東横イン旭川駅前
- ・ドーミーイン旭川
- ・スマイルホテル旭川
- ・ワイズホテル旭川
- ・ホテルクレッセント旭川
- ・旭川トーヨーホテル
- ・ホテル WBF グランデ旭川
- ・くれたけイン旭川
- ・スーパーホテル旭川
- ・R ホテルズイン北海道旭川
- ・旭川キャピタルホテル
- ・旭川サンホテル
- ・ホテルリベルテ旭川
- ・高砂温泉
- ・A GATE HOTEL ASAHIKAWA
- ・東花苑
- ・旭川パークホテル
- ・和風旅館 扇松園
- ・龍乃湯温泉
- ・美松荘旅館
- ・9c ホテル旭川
- ・オスパーコート宮前
- ・ビジネスプラトンホテル
- ・ホテルテトラ旭川駅前
- ・ホテルルートイン Grand 旭川駅前

◆割引商品

- （旭川市民向け）宿泊料金を含む1人1泊当たり税抜6千円以上で5千円割引
（市外の方向け）宿泊料金を含む1人1泊当たり税抜4千円以上で3千円割引

◆利用方法

- 宿泊したい対象施設へ事前に対象プランを御予約の上、御利用ください。
※1回の御利用で適用になるのは3連泊までです。
※期間内の宿泊者の利用回数に制限はありません。

◆割引の併用

- 「あさっぴー割」と「新しい旅のスタイル」とは従来どおり、併用可としています。